

# いながわ

## 議会だより

第 **114** 号

平成17年(2005年)2月3日

発行：猪名川町議会  
編集：議会広報特別委員会

〒666-0292 兵庫県川辺郡  
猪名川町上野字北畑11-1  
TEL(072)766-8710



～小学校交流もちつき大会～

**15年度決算を認定 上野5号線の効果は**

2

**議案審議** 台風23号による災害復旧費を計上

4

**委員会の活動報告** 台風23号により農地・河川に甚大な被害

6

**姉妹都市** パララット市を訪問

8

**一般質問** ここが聞きたい

10

15年度 決算状況

会計	歳入	歳出	差引額	
一般会計	94億301万3,960円	91億2,099万2,942円	2億8,202万1,018円	
特別会計	国民健康保険	15億7,998万138円	15億6,473万4,714円	1,524万5,424円
	介護保険	10億2,810万2,424円	10億459万9,591円	2,350万2,833円
	老人保健	19億1,669万2,622円	19億126万768円	1,543万1,854円
	農業共済	4,248万1,801円	2,556万162円	1,692万1,639円
	農林商工業振興資金	5,722万8,662円	1,000万円	4,722万8,662円
	下水道事業	14億997万1,930円	12億9,908万174円	1億1,089万1,756円
奨学金	1,077万3,233円	951万円	126万3,233円	
合計	154億4,824万4,770円	149億3,573万8,351円	5億1,250万6,419円	



決算特別委員会

15年度各会計（水道事業会計除く）決算は、特別委員会にて3日間にわたり慎重に審査し、認定した。  
委員会でのおもな質疑は次のとおり。

上野5号線の効果は

一般会計

安心できる  
予算編成を

経常収支比率が80%台になり弾力性が失われつつあるが、今後の予算編成は、  
A 行財政改革を進め、一時的には基金を運用したい。

乳・幼児医療費  
助成の充実を

0歳児の医療費へ、町独自の助成をすべき。  
A 基本的には県制度に準ずる。少子化対策として他の福祉施策も含めて今後の方策を考えたい。

公共投資の  
効果に疑問

上野5号線完成までの経費と完成予定は。また、第二名神建設が遅れている中、効果が期待できない。  
A 全経費は約6億700万円。完成見込みは16年度末。第二名神関連の石道上野線は、川西市とともに県に強く要望している。  
B 木間生旭ヶ丘線の計画は凍結すべき。  
A 経費削減で7〜8億円できないか考えている。

トライやるウィークの送迎は教育委員会の責任

トライやるウィークの送迎ボランティアは責任が重いとの声がある。改善を。  
A 課題であり、今後トライやるウィーク推進協議会と十分協議し、改善したい。

職員の  
健康管理徹底を

生涯学習の仕事は時間外勤務が多い。職員の健康管理の徹底を。  
A 健康状態に十分配慮し、労働安全衛生委員会等で協議の上、対策を考えたい。

一般会計

私は反対

私は賛成

財政的に厳しい中、上野5号線道路建設は無駄な投資である一方、町独自の乳・幼児医療費助成は行おうとしていない。

三位一体の改革、地方交付税の削減等、大変厳しい状況の中、行政改革が予算執行へ反映されている。

賛成多数で認定

特別会計

国民健康保険

高額医療が伸びているがどう分析しているのか。  
A 循環器、血管系の病気に高額な費用がかかっており、件数も増加傾向。

反対

基金の運用により一定負担の軽減をしよう今後検討すべき。  
賛成  
医療給付費が増加しているが、健康づくりへの取り組み、保険税の据え置きなど、努力されている。  
(賛成多数で認定)

介護保険

納入率・徴収率が下がっているが、保険料を上げた影響では。  
A 対象者数も増加し、従前からの滞納者が滞納している。

反対

保険料を据え置く努力がなく、引き上げを行った。  
賛成  
介護保険の各サービスが健康づくりとともに適正に実施されている。  
(賛成多数で認定)

奨学金

制度の変更後1年を経過した段階でどのようにしているのか。  
A 予定よりも貸付額が多くなっている。5年ないし6年で基金がマイナスに転じていくと考えている。  
(全会一致で認定)

(このほか、老人保健・農業共済・農林商工業振興資金・下水道事業特別会計は全会一致で認定)

# 台風23号による 災害復旧費を計上

補正額1億2,662万5千円

農地・農業施設29カ所 道路・河川40カ所の復旧工事



第324回定例会を12月10日から22日まで開会し、15年度的一般会計決算および特別会計7会計の決算を認定した。また、専決処分1件、人事案件3件、条例制定・改正（常任委員会付託）3件、16年度一般会計・特別会計補正予算4件、その他3件が上程され、条例制定1件（継続審査）を除く13件を慎重に審議し、原案どおり同意・可決した。

常任委員会への付託議案

## 本会議でこう決まりました

(詳細は6～7ページ)

議案名	審議結果	付託委員会
・職員公務災害等 見舞金支給条例の制定	継続審査	総務企画
・都市公園条例の一部改正	可決 (全会一致)	建設環境
・国民健康保険税条例の 一部改正	可決 (全会一致)	文教厚生

### 一般会計補正予算

おもな内容

スクリーングサポート  
ネットワーク整備事業費  
30万円増額

教育研究所における適応  
教室指導員の研修、学校と  
家庭、関係機関の連携強化  
を図る事業。

県全域に設置されるもの  
なのか。また、その内容  
は。

県下全域を対象として  
不登校児童・生徒の早期発  
見、早期対応といった、き  
め細かな支援をするもの。

温水プール等の委託料  
1,083万6千円減額

施設開設後3年を経過し、  
管理契約の入札を行った結  
果によるもの。

業者が変わることでサ  
ービスの低下にならないか。

仕様内容等に変更はな  
く教室等も継続しており、  
今年度の利用者も伸び、順  
調に運営されている。

司書教諭賃金  
265万9千円減額

つつしが丘小学校に県費  
での配置がなされたこと  
による。

専任司書が配置されな  
くなつての影響は。

部分的に違いがあつて  
も、司書の資格を持った先  
生が配置されるため、先生  
同士の対応により効果があ  
る。

道路新設改良工事費  
および庁舎周辺整備  
事業費  
約1億3,600万円減額

上野5号線の事業整理と  
ともに庁舎前の機能回復の  
影響が最小限に納まり、減  
額となった。

### 会計別の補正額

会 計	補 正 額	補正後の総額
一般会計	1,946万8千円 増額	98億6,709万5千円
特別会計	国民健康保険	8,994万8千円 増額
	農業共済事業	247万5千円 増額
	下水道事業	921万1千円 増額
		16億5,760万2千円 4,645万3千円 9億6,839万2千円

#### 人権擁護委員 候補者に

山本晴代氏

12月31日で任期満了とな  
る人権擁護委員候補者に、  
山本晴代氏を推薦すること  
に同意。

#### 公平委員に

本山友宏氏

12月23日で任期満了とな  
る公平委員会委員に、本山  
友宏氏を選任することに同  
意。

#### 教育委員に

奥村眞事氏

12月22日で任期満了とな  
る教育委員会委員に、奥村  
眞事氏を選任することに同  
意。  
任期は20年12月22日まで。

#### あなたも

議会・委員会を傍聴しませんか

議会では、みなさまの身近なことを論  
議しています。

まちづくりを一緒に考えてみませんか。  
傍聴の手続きは簡単で、当日、事務局  
で受付簿に記入していただくだけで傍聴  
できます。

(本会議20名、委員会10名まで)

#### 今後の議会日程(予定)

\*3月定例会 2月25日～3月28日

議事の都合により変更することがあり  
ます。

日程については、ホームページでもご  
覧いただけます。

お問い合わせは、議会事務局へ

(☎766-8710)

3月6日 10時～  
日曜議会を  
開催

一般質問を行います。  
ぜひ、傍聴に  
お越しください。

# 委員会の活動報告



## 台風23号により 農地・河川に甚大な被害

11月19日、午後1時30分  
から委員会を開会。台風23  
号による農地・農業施設・  
河川の被災箇所を視察。

〔視察先〕  
役場↓柏原農村公園↓柏  
原農道↓清水河川↓原農地  
↓差組河川↓広根道路↓銀  
山河川↓広根河川↓役場上  
ため池



崩壊した道路(広根(上)  
と農地(原)(下)



建設環境  
公園の条例を  
一部改正

12月15日、午後1時30分  
から委員会を開会。付託議  
案を審査。

都市公園条例の一部改正に  
ついて  
都市公園法(昭和31年)  
の一部改正に伴い、引用条  
項等に変更が生じたため、  
改正するもの。  
(全会一致で可決)

## 先進地 視察レポート



水道事業の斬新な委託

11月11日 福島県三春町企業局

14年の水道法改正以前から、積極的に業務のアウトソーシングを推進。4年おきに値上げしてきた水道料金を10年間固定化することを宣言し、職員数も15人から6人に削減することに成功するなど、数々の成果を上げていることについて研修を受けた。

商店街の活性化と

アイデア観光の振興

11月12日 福島県津若松市

これまで培ってきた歴史や文化、人と人とのふれあいを大切に、いつでも暖かく包んでくれる界隈づくりを進め、生活者と来街者、観光客が歴史や文化に触れ、交流することにより、かつての城下町回廊、つまり中心市街地内の通りに連続性を持たせ、賑わいのあるまちづくりに取り組んでいることについて研修を受けた。

## 楊津・大島小の 改築決定

文教厚生



10月22日、午後1時30分  
から委員会を開会。かねて  
よりの重要案件について報  
告を受けた。  
楊津小学校と大島小学校  
を個別に施設整備  
統合については将来の児  
童数を勘案し、全町的な学  
校のあり方を考え検討する。  
当面は、両校の危険校舎  
を改築する。17年度実施設  
計、18年度仮設校舎建設、  
19年度校舎建設完成、20年  
4月開校の予定。

(仮称)福祉の道 整備事  
業の進捗状況  
現在、地元説明会が終わ  
り、用地境界の仮立会いを  
行った。今後は道路法線を  
決定し、実施設計に入り、  
17年度に工事着手。



個別に整備することとなった  
大島小学校(上)と楊津小学校(下)

## 国保税の納期 10期→9期に

12月14日、午後1時30分  
から付託議案を審査。  
国民健康保険税の納期と  
申告期限を変更することに  
より、住民に対しより効率  
的・効果的な行政サービス  
を提供するため改正するも  
の。  
12年度に納期を10期に  
増やし、今回9期に減らす。  
住民への周知の方法は。

A 前回の改正は介護保険  
の導入等で、1回の納付額  
を軽減し納入しやすいう  
8期から10期に増やした。  
今回1期減るが保険税の更  
正件数をなくし、不信を招  
かないようにしたい。納付  
書郵送時に文書を同封する  
等周知を図る。  
(全会一致で可決)

## 職員公務災害等見舞金 支給条例を継続審査に

総務企画

12月13日、午後1時30分  
から委員会を開会。付託議  
案を審査。  
職員公務災害等見舞金支  
給条例の制定について  
職員等が公務災害等に  
死亡又は障害を負うに至  
った場合、その遺族または  
職員等に対して公務災害等  
見舞金を支給するため制定  
するもの。

委員会において議案の説  
明を受け、設置する理由や  
他団体の制定状況、支給額  
の根拠について質疑を行っ  
たが、これらのことについ  
てさらに慎重に審査すべき  
であることから、全会一致  
で継続審査とした。

# 姉妹都市 バララット市を訪問



バララット市庁舎



バララット市議会会議場にて

10月25日から30日までの6日間、中島孝雄・道上善崇・関口功男・福井澄栄議員の4名が姉妹都市であるバララット市を訪問した。

現地滞在は4日間と短い期間ではあったが、行政施設をはじめ教育施設や観光施設などを視察。各視察先でバララット市民と直接触れ合い、交流することにより姉妹都市の実情や国際交流の現状などを調査することができた。

バララット市では、市長、市議会議員をはじめ多くの市民の温かい歓迎を受け、両市町の交流の深さに感銘し、友好関係を再確認した。



## 視察したおもな施設



### 行政施設

### バララット市新庁舎

市内中心部の市庁舎の隣にあり、福祉・企画・土木などの部署が機能的に入っている。1階中心部のロビー壁面には、本町の小学生が姉妹都市提携15周年を記念して制作したコアラマザイクのタイル絵画が展示されており、訪れる人々の目を楽しませていた。



### 教育施設

### マウントクリアカレッジ

猪名川高校と姉妹提携校である同校には、7人の生徒が留学していた。生徒らは大変元気であり、すっかり学校に溶け込み、現地の友人や担任の先生との英会話もスムーズで、語学力の上達はすばらしいものがあった。



### 観光施設

### ワイルドライフパーク

野生動物園ワイルドライフパークには、コアアラをはじめ多数の動物が飼育されている。カンガルーなどは放し飼いにしており、訪問者は自由に触れ合うことができる大変開放的な動物園であった。



### ボタニカルガーデンで記念植樹

ベゴニアの花で有名な植物園ボタニカルガーデンの一角に町木「松」を記念植樹。



バララット市



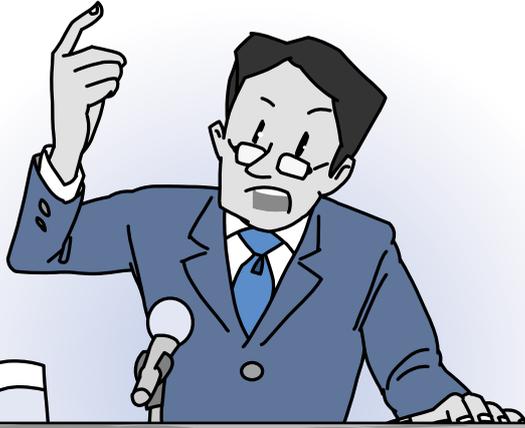
猪名川町

## バララット市と本町の交流の歩み

バララット市と本町の交流は、1988年（昭和63年）8月1日に姉妹都市提携を締結して以来、文化・教育等様々な分野で交流を進めており、中学生の派遣や高校生の留学、町国際交流協会による訪問などの人的交流や、道の駅いながわでのバララット産ワイン販売などの経済交流にも積極的に取り組んでいる。平成15年11月には、姉妹都市提携15周年を迎え、バララット市長ら21人の訪問団が来町。これまでの交流を再確認するとともに、今後の新たな姉妹都市交流の発展を誓い合った。

# 一般質問

# 10人が町政を問う



## 10人が町の考えを問う

定例会第2日（12月17日）に10人の議員が町政全般にわたって質問しました。

質問（Q）と答弁（A）の要旨を掲載しています。

### 関口功男 議員

- ・日生中央駅にエレベーターの設置を

### 山崎福市 議員

- ・子育てしやすい環境づくりを

### 下坊辰雄 議員

- ・生み育て安全安心でいつまでも住み続けたい町づくりについて

### 中島孝雄 議員

- ・防災体制の現状と今後の課題及び取組みについて

### 新賀 保 議員

- ・出産一時金の「委任払い制度」の創設を

### 福井昌司 議員

- ・台風23号に関連する諸問題について

### 福本典子 議員

- ・町内の大型駐車場に温暖化防止と環境美化をかねて植栽を
- ・県道能勢猪名川線の今後の改良計画は

### 池上哲男 議員

- ・日生中央駅へエレベーターの設置を
- ・幼稚園入園におけるトラブルの解消は
- ・次々と事業・施策の中止・変更をしなければならぬ予算編成をしたことは、重大な責任問題では

### 尾川悦子 議員

- ・つつじが丘小学校区の教育環境整備について
- ・就学前教育と子育て支援について

### 福井澄栄 議員

- ・より国際性豊かな子どもたちを育てよう
- ・猪名川町もローカルマニフェストの作成を
- ・有用微生物群EMで猪名川の浄化を



関口 功男 議員

## Q 日生中央駅にエレベーターの設置を

### A 新年度での具体化を目指す

**問** 本町の玄関口である日生中央駅の乗降者数は、川西能勢口駅に次いで2番目の多さである。また、18年の「兵庫国体」の際には、高齢者や身体障害者を含め大勢の人が利用することが予想される。ノーマライゼーションの理念から、エレベーターを早急に設置すべきと思うが、その後の進捗状況は。

**住民生活部長** 機会あるごとに能勢電鉄に申し入れてきたが、駅構内の既存フロアを活用することにより、

**問** 工事費は1億5,000万円程度まで絞り込むことができた。国・県の補助を受けその残りを能勢電鉄と町で負担すれば実現可能となったが、能勢電鉄は再建計画推進途上にあり、建設投資もままならない状況にある。また、町としても財政窮乏の折でもある。しかし、エレベーター設置は、多くの町民の積年の願いでもあるため、何としてでも実現に結びつけなければとの思いを強くし、新年度での具体化を目指すこととなった。



エレベーター設置を早期に



子育て家庭に一層の支援を

**住民生活部長** 保育料は、児童福祉法の保育所徴収金基準額に基づき、所得階層区分内で各市町の実状に応じて決めているが、本町は子育て家庭の経済的負担軽減の観点から、国の基準より低く設定しており、これ以上の負担軽減は慎重な検討が必要と考えている。



山崎 福市 議員

## Q 子育ての環境づくりは経費負担軽減を

### A 保育料の負担軽減には慎重な検討が必要

**住民生活部長** 現在、町立・私立の2カ所の認可保育所と他に管外保育所の委託も含めて待機者もなく需要

**問** 子育て支援需要への対応

**住民生活部長** 現在、町立・私立の2カ所の認可保育所と他に管外保育所の委託も含めて待機者もなく需要

**問** 子育て費用の負担軽減を

**住民生活部長** 保育料は、児童福祉法の保育所徴収金基準額に基づき、所得階層区分内で各市町の実状に応じて決めているが、本町は子育て家庭の経済的負担軽減の観点から、国の基準より低く設定しており、これ以上の負担軽減は慎重な検討が必要と考えている。



下坊 辰雄 議員

### Q 市立川西病院への経営参加を

#### A 現状では経営参加の考えはない

**問** 昨年9月の全住民アンケートによると、町立病院の建設・救急指定病院の設置を要望する声が多かった。町独自の建設は財政的にも厳しいので、市立川西病院への経営参加ができるよう呼びかけを。

**住民生活部長** 市立病院の経営主体は川西市であり、現状下では経営参加の考えはない。

**問** 「大島小学校・楊津小学校を統合」と町長の施政方針で述べられたが、9月には統合せず各小学校で施設整備することに変更した理由は。



兵庫県災害対策センター

**教育部長** 統合には時間がかかるので、早期に解決するために各小学校の施設整備などを行う。

**問** 台風23号による災害が起きたが、本町の災害対策本部としての対応は十分発揮されたのか。今後建設を予定している水道庁舎の2階に、防災対策本部の設置を。

**総務部長** 災害対策本部は庁舎の2階会議室に設置した。今後、施設整備する機会があれば、防災対策本部として整備を考えたい。



阿古谷小学校区での防災訓練



中島 孝雄 議員

### Q 台風23号に見る本町の防災体制は

#### A 経験を生かし現体制の見直しを図る

**問** 台風23号では第3号配備態勢が発令され全職員が出動したが、本町の災害対策マニュアルは有効に機能したか。

庁舎2階の会議室に本部が設置されたが、電話・ファックス・パソコン等の電源及び端末は完備できていたのか。非常電源での対応

は確保されていたか。

また、対策本部は全町の状況を把握し適切に指示を発信できたか。

今後の危機管理のあり方について問う。

**総務部長** 災害が次々と発生し、予想を越える初めての体験であり十分に対応できなかった所がある。今後は職員の配備体制についても機能的に配置し、災害情報の提供や自主防災活動の強化を図る。

対策本部の電源や端末についても整備の必要性があり、停電時の対策も併せて検討する。

**問** 災害弱者の避難誘導や避難場所など、問題点は多い。災害体験を生かしたマニュアルの見直しを。

**総務部長** 今回の経験を生かし、見直すべきは見直す。

# Q 出産一時金の「委任払い制度」創設を

## A 早期に実施できるように前向きに取り組む



新賀 保 議員

**問** 最近若い生命が犠牲になる事件が多発している。子どもは「未来からの使者」であり、尊い使命を持って生まれてくる存在であることを忘れてはならない。子どもを安心して生み育てられる環境づくりの一つとして出産一時金の委任払い制度がある。出産時の経済的



出産時の負担軽減が望まれる

負担の軽減を図るもので、国民健康保険加入者を対象とし、出産後に支給される出産育児一時金(30万円)を町から直接医療機関に支払う制度のこと。今は被保険者が出産費用を医療機関に全額支払った後、役場から一時金を受け取っているが、委任払い制度を導入することで、退院時に支払う医療費が一時金の30万円を差し引いた金額のみとなるため、経済的負担が大きく緩和されることになる。医療機関においてもスムーズな支払い制度であり、双方にとっても大変メリットの高いものと考えらるが。

**住民生活部長** 導入に向け関係機関と調整し、承認を得た上で、できるだけ早い時期に実施できるように前向きに取り組む。

# Q 台風23号の教訓を今後どう活かすのか

## A 総合治水として抜本的に取り組む



福井 昌司 議員

**問** 崩土や鉄砲水等、被害箇所が開発地と周辺の接点に目立っている。開発指導に問題はなかったか。また、道路や農地等の冠水・浸水は同じ箇所で起きているにもかかわらず、何らの改善も遅々として進んでいない。住民にどう説明するのか。

**建設部長** 関係法令等で適切な指導を行ってきた。また、河川改修等の抜本的対



冠水直前の笹尾地区

策は猪名川総合治水対策協議会で取り上げ、今後とも国・県に強く要望していく。木間生旭ヶ丘線の用地買収は終わり、次年度より工事に着手していく。コスト削減に努め、工事費は約5億円程度を見込んでいる。

**問** 山林の保全と復旧は。

**環境経済部長** 町森林組合と連携し、森林整備地域活動支援事業や環境育林事業等を活用する。特に大きな災害は林地崩壊防止事業等の災害復旧事業を導入し、対処する。

Q 町内大型駐車場に温暖化防止の植樹を

A 緑を多くには同感、今後考えていく



福本 典子 議員



アスファルトで覆われた駐車場に緑を

地球温暖化による環境被害が年々増加する中で、微力でも猪名川町から温暖化防止の行動を推進したい

民間の業者に対しては何㎡以上の駐車場には緑地を何%確保という町の条例を作る、それに対し助成制度を作るなど考えては。

開発には緑地の率を多く指導する。緑を多くの環境アドプト制度に今年度予算をつけた。

阿古谷小学校の通学路について

能勢猪名川線の歩道拡幅の今後の改良計画は。

建設部長 今後は下阿古谷地域、次に町道紫合13号線との交差点(通称・功臣場)まで。この計画は阪神北部地域の社会基盤整備プログラムに計上、早期完成を要望中。

アスファルトで覆われた地面は美観的にも良くない

大島校区の改良された歩道、交差点にも植栽を。

通学生が多く見通しを考えると植樹はできない。

Q 日生駅エレベーター設置をどう解決したか

A 施設内の一部機能廃止で可能になった



池上 哲男 議員



やっとエレベーター設置が具体的に検討されることになった日生中央駅

9年6月から6回にわたって「1日の乗降客が5千人以上の駅にはエレベーターを設置すること」との県の条例、日生中央駅より乗降客が少ない山下や光風台も設置されていることなどを指摘し、質問を続けてきたが、その都度構造上困難と言われてきた。

直近の3月議会での質問にも早期の設置は困難と言われたが、わずか半年でどのように解決したのか。

少しホームが狭くなるが、施設の中にある宿直室等の機能を廃止

することで可能となった。「町がルール分を超えた負担も」ということも含めた交渉で、能勢電鉄も「前向きに検討しよう」ということになり、一気に進んだ。

幼稚園入園におけるトラブルの抜本的解決を 幼稚園入園に際し、常につつじが丘の子どもや保護者が犠牲になっている。

来年度は、といった対処だけでなく、抜本的な解決を。

早急に検討し、17年度上半期には、その内容を明確にし、実施したい。



尾川 悦子 議員

## Q 公立幼稚園の抜本的な改革を早急に

### A 17年度上半期には明確にする

**問** つつじが丘小学校区の教育環境整備について問う

**教育部長** つつじが丘の保護者の皆様にはご心労を煩わしていることを申し訳なく思っている。園区をはじめ現状の問題や課題を解消する抜本的な対策を早期に立案し、17年度上半期には内容を明確にし、その方針に向かって着手する。

**問** 公立のニーズが高まっているが、私立通園家庭への経済的支援は。



改革が求められる公立幼稚園

**教育部長** 私立幼稚園就園奨励費補助金は、町次世代育成支援対策協議会で検討中の内容ともあわせ、抜本的な対策と兼ね合いの中で考えていく。

**問** 小学校の増設は。

**教育部長** 今後入居する児童数の動向や補助金の関係にもよるが、18年度には増築が必要。教室数については将来分を含めて行う。

**問** 中学校建設の予定は。

**教育部長** 現在90名が猪名川中学校に通学しているが、現状においては現在の学校で受け入れ可能と考える。



ALT（外国人指導助手）による英語教育

**問** 透明性の向上に大きく貢献する。市民へのアンケート、公募市民の意見をもとに作成。本町も作成を。

**企画部長** 後期基本計画で状況を見てリンクも考えていきたい。



福井 澄栄 議員

**問** 志木市では行政から市民への約束としてローカルマニユフェストを作成した。基本計画の施策と、市長就任以来取り組んできた施策を、都市基盤、地域環境、教育・文化、保健・医療・福祉、産業、まちづくり推進の6つの体系に整理して目標、期限、費用、工程を一覧表の形で示した。市民と市が情報を共有し、市政の

## Q 本町もローカルマニユフェストの作成を

### A 状況を見てリンクも考えていきたい

より国際性豊かな子どもを育てよう

**問** 姉妹都市のバララット市を視察して、より国際性豊かな子どもを育てるためには先生を増やし英会話の時間を増やす必要があると認識したが。

**教育長** 国際感覚および語学は重要であり、学習指導要領の範囲内で努力する。

**問** 有用微生物群EM菌で猪名川の浄化を。

**環境経済部長** 水質は良くなってきたが、今後の課題として研究する。

#### ひょうちゅく

#### 「EM菌」

有用微生物群の略称。環境を良くし、動植物の細胞を活性化させる働きを持つ酵素や生成物を作り出す微生物の集合体。



# こどもたちの声

## もしもイルカだったら

松尾台小学校 2年 蒔田 善弘

もしもイルカだったら  
海をおよいで海の中を  
いろいろたんけんしてみたい  
タイタニックをさがしてみたい  
大きなくじらを見てみたい  
カンの中に魚を見た  
たくさんのイルカといっしょに  
ジャンプしてあそんでみたい  
せかい一しゅうしてみたい  
とおくのうしろでは  
なんきょくと  
ほっきょくごうって  
オーロラを  
見てみたい



## 夕日がせなかをおしてくる

中谷中学校 3年 山下 直子

まぶしいね、あの太陽  
オレンジの光が輝いている  
もうすぐ  
君とさよならするとき  
オレンジの光が消えるとき  
そんなとき 思っ  
さみしいなって…  
夕日が沈んだ  
でももうさみしくないよ  
握手しようかわかれ道  
さよなら太陽、さよなら  
でも  
夕日がせなかをおしてくる  
わずかな光で  
ぼくらをなぐさめてくれる  
あしたの朝また会おう  
君も ぼくも 太陽も  
〈名詩(阪田寛夫)の一部を引用して創作した詩〉

# 編集後記



度重なる自然災害、とりわけ台風23号、新潟県中越地震災害の復旧作業が懸命に続けられている中、第324回定例会は、

12月10日に開会され22日に閉会した。

その後26日には、スマトラ島沖大地震、津波が発生し未曾有の被害をもたらしその被害は、刻々と拡大し続けている。

災害の発生時期、態様は不測の部分が多く、いざ直面すると、従前の認識だけでは不十分であることを、今回の経験から学んだ。とはいえ行政の使命は、住民の安全・安心を守ることにある。これを機に、あらゆる災害に対する心の備えをもち本年を防災元年と考

えたい。



三矢の儀式 (民田八幡神社)

# 新春を迎え ごあいさつを申し上げます

猪名川町議会

議長

山口 昌

副議長

時崎 巖

議員

- 池上哲男
- 尾川悦男
- 切通明男
- 小坂正雄
- 下坊辰雄
- 新賀辰保
- 関口功男
- 中島孝雄
- 西谷八郎治
- 福井澄榮
- 福井昌司
- 福本長治
- 道上典子
- 南上善崇
- 山崎福市

(50音順)



議会だよりは再生紙を使用し、地球環境にやさしい大豆油インキで印刷しています。